



前列右から、葛原さん、西井さん、稲垣さん。後列右から、神取、石黒。

メ〜テレで
「ゆいま～る大曾根」の暮らしが紹介されました!!
終の住みか第二の人生を自分らしく

3月2日、メ〜テレ(名古屋テレビ放送)「UP!!」で、「ゆいま～る大曾根」の暮らしが紹介されました。入居者・葛原美智子さんが一軒家からゆいま～る大曾根に入居するまでを、約9カ月に渡って長期取材しました。引越越しの様子も含め、葛原さんの心境の変化等の過程もていねいに追っています。また、葛原さんのほか、西井喜美子さん、稲垣美津江さんの暮らしぶりも紹介。なぜ、持ち家からサービス付き高齢者向け住宅に住み替えたのか。番組内容をご紹介します。(※年齢は放映時のものです)

40年住んだ春日井市の一軒家から住み替えました。人がよく集まる、思い出が詰まった家でした。4年前に夫を亡くし、庭の手入れも億劫になり、このままここで亡くなったらまわりに迷惑がかかると思い、悩んだ末に住み替えを決意。思い切って、荷物は三分の一に。集合住宅は初めてなので不安もありますが、人生の最後なので違う意味で楽しんでいきたい。引越してきて、新しいお仲間も出来ました。年を重ねると閉鎖的になっていくけれども、新しいところに来て逆に広がるのがうれしいと感じています。



葛原美智子さん(72)



西井喜美子さん(78)

母

を7年前に亡くし、高齢者住宅を探し始めました。部屋数も多く、一人で暮らすには必要ないと思いましたが、前の家は、トイレが2階にあり、上がり降りに苦勞していました。ここでは、室内はバリアフリーでトイレや浴室も行きやすいし、毎日の見守りや、バッテリーの充電の

仕方を教えてもらうなど、生活のちょっとした支援もしてもらえます。入居前は支援なんて必要ないと思っていたけれど、やはり引越してきて良かった。スタッフも堅苦しくなく気さくに話しかけられる方たちなので、安心していきます。



稲垣美津江さん(69)

3

LDKのマンションから引越してきました。一人で暮らすにはちょうどいい広さ、ちょうどいい形での住み替えだったと思います。キッチンですが、料理が好きなので、調理台の高さがぴったりで使いやすい気に入っています。健康にも気をつけていて、ダンベル体操や、買物は徒歩で荷物を手に持つことを心がけています。夫を十年前に亡くし、落ち込んでいた時もありましたが、今は趣味の油絵や旅行をするなど、一人の生活を楽しんでいます。今の人生に区切りをつけるというより、もう一度人生を生き直すことにつながるかもしれないと感じています。

男性も自由に自分らしく暮らしています！

妻

を6年前に亡くし、高齢者住宅を探し始めた。「何時に起きて、何時に食事をして、体操は何時で……」と自由がないところばかり。自分はまだ車も乗りたし遊びたい。ゆいま〜る大曾根は団地の空室をサ高住にした「分散型」なので、一般の住民と同様の暮らしで自立

たないのがよかった。また、自宅の売却がオープン前に決まってしまう困っていたところ、スタッフが仮住まい探しを手伝ってくれて助かりました。部屋も自由にレイアウトできる。自分なりに工夫を凝らし、男一人でも住みやすく大満足です。

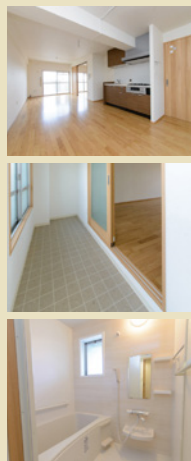
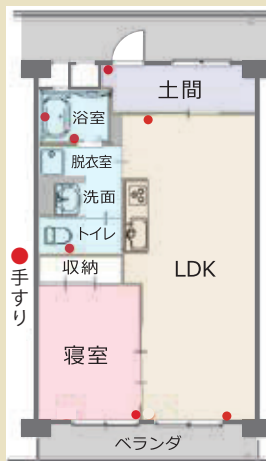


榎戸通博さん(75)



ゆいま〜る大曾根
ハウス長 石黒浩子より

ゆいま〜る大曾根は、サービス付き高齢者向け住宅ではめずらしく、50㎡近い広いお部屋が特徴で、既存団地のリノベーションだから家賃もお安く、6万円台からあります。団地1階には、NPO法人わっぱの会が運営する総合店舗「ソーネおおぞね」もオープン。ここで働く入居者の姿も見られるかもしれません。これからも、入居者の皆さん、地域の皆さんと一緒に、大曾根全体を高齢者も若い人も子どもも、障がいのある人もそうでない人も、安心して暮らせるまちなりにしていきたい、ゆいま〜る大曾根がその一助を担えればと思っています。



分散型サービス付き高齢者向け住宅
ゆいま〜る大曾根
第2期募集開始
7月1日オープン予定
現地見学会：月・火を除く毎日開催

フリーダイヤル
0120-155-273
ホームページ
<http://yui-marl.jp/ozone/>

〒462-0810 愛知県名古屋市区山田二丁目11番62号 大曾根併存住宅1棟1階